

病院の力 実

神奈川編 43

今回の「病院の実力」は、「慢性頭痛」を特集する。

ズキズキと脈打つ痛み、吐き気を伴うことが多い「片頭痛」、締め付けられるような痛みが何日も続く「緊張型頭痛」、1年のうち数週間から数か月間、目の奥や側頭部などが激しく痛む「群発頭痛」の三つが代表的だ。

病院の実力「慢性頭痛」

医療機関別治療実績
(読売新聞調べ)

| 医療機関名 | 薬物乱用頭痛の割合(%) | 重症患者の入院の有無 | 初診時の平均診察時間(分) |
|---------------|--------------|------------|---------------|
| いとく横浜ク | 3 | △ | 30~40 |
| 神奈川歯科大横浜ク | 14 | △ | 32 |
| 川崎市立川崎(神) | 約10 | ○ | 約30 |
| 緩和会横浜ク | — | × | 20 |
| 北里大(神) | 17 | ○△ | 25 |
| 慶友会第一(脳) | 2 | ○ | 5 |
| 国・横浜(神) | 10 | × | 20 |
| 済生会横浜市東部(神) | 34 | × | 20 |
| 相模原協同(脳) | 2 | ○ | 20~30 |
| 昭和大横浜市北部(脳) | 5 | × | 20 |
| 仁厚会(脳) | 1 | × | 15~20 |
| 聖マリアンナ医大(神) | 10 | ○ | 30 |
| たいく | ※ | × | 30 |
| 茅ヶ崎徳洲会総合(神) | 4 | ○ | 20~30 |
| 東海大(神) | 3 | ○ | 30 |
| 平塚共済(神) | ※ | × | 15 |
| 平塚市民(脳) | 3 | ○ | 15~20 |
| 藤沼内科ク | 4 | △ | 15 |
| 間中(脳) | 4 | ○ | 20 |
| メディカルク医庵 | 30 | △ | 30 |
| 横浜栄共済(脳) | 5 | ○ | 15 |
| 横浜市大(神) | 1 | ○ | 10 |
| 横浜新都市脳神経外科(脳) | ※ | ○ | 15 |

神奈川

「ク」はクリニック、「国・」は独立行政法人国立病院機構。病院の場合、回答した専門医が所属する診療科名も記した。

(神)は神経内科、(脳)は脳神経外科。

「—」は不明または無回答。薬物乱用頭痛の割合で、※は1%未満。重症患者の入院の有無で、○は「自施設で入院」、△は「他施設に紹介」、×は「なし」。

慢性頭痛

これらの痛みは、市販の鎮痛薬では治まらないことがある。片頭痛については、医師が処方する治療薬「トリプタン」が有効なため、生活に支障が出るほどの痛みがあれば医療機関を受診したい。

厄介なのは、薬を飲み過ぎると、かえって頭痛の頻度が増える場合があることだ。これを「薬物乱用頭痛」と呼ぶ。原因となった薬をやめるため、入院して治療を受けることもある。こうした難しい頭

薬飲み過ぎると悪化も

これらの痛みは、市販の鎮痛薬では治まらないことがある。片頭痛については、医師が処方する治療薬「トリプタン」が有効なため、生活に支障が出るほどの痛みがあれば医療機関を受診したい。

読売新聞は、全国の頭痛専門医713人にアンケートを

痛なら、日本頭痛学会の認定専門医を受診するのが望ましい。一覽表には、10年に専門医が診療した医療機関名を掲載。①新規の頭痛患者のうち

行い、2010年の治療実績などを質問した。

薬物乱用頭痛の割合(10年実績)②慢性頭痛の重症患者を入院させた経験の有無③初診時の診察時間を載せた。

「慢性頭痛」3種類に大別

慢性頭痛とは、脳腫瘍や髄膜炎など他の病気はないのに、頭痛の発作を繰り返す病気だ。大きく分けて3種類ある。

「片頭痛」は、ズキズキと脈打つ痛みが4〜72時間続く。吐き気を伴うことが多く、体を動かすと悪化する。日本では800万人以上の患者がいるとされ、女性に多い。医師が処方するトリプタンという飲み薬が有効だ。

「緊張型頭痛」は、締め付けられるような痛みが頻繁に起こる。一般的に片頭痛より痛みは軽く、体を動かしても悪化しない。鎮痛薬が使われる。

「群発頭痛」は、1年のうち数週間から数か月間だけ、毎日短時間、片側の目の奥などが激しく痛む。酸素の吸入やトリプタンの自己注射薬に効果がある。

病院の 実力

108

ただ、鎮痛薬や片頭痛治療薬を飲み過ぎると、かえって頭痛の頻度が高くなる場合がある。これを「薬物乱用頭痛」と呼ぶ。原因となった薬をやめる必要があり、入院して治療することもある。

このように、慢性頭痛には様々な種類があり、治療法も異なるため、痛みがつらい場合は、日本頭痛学会の認定専門医がいる医療機関を受診するのが望ましい。

読売新聞は、全国の専門医713人にアンケートを実施、320

それぞれ異なる治療法

件の回答を得た。この中には、同じ病院にいる複数の専門医のデータを合算した回答も含まれる。

一覧表には、専門医が2010年に診療を行った医療機関名を掲載。①新規の頭痛患者のうち薬物乱用頭痛の割合（10年実績）②重症患者を入院させた経験の有無③初診時の平均診察時間——を載せた。同一の病院で診療する複数の専門医が個別に回答した場合は、最も高い数値を掲載した。

紙面の都合で、掲載したのは166施設。表の3項目に、他の5項目を加えた計8項目の回答を点数化し（表右下の注記）、6点以上の施設（該当施設がない県は最も点数が高い施設）を掲載した。

なお、専門医の氏名は、日本頭痛学会のホームページで見ることができる。（山口博弥）